

石塚潤一による音楽分析講座

【第5回, 第6回講座 (湯浅譲二 第1,2回) のご案内】

BUNCADEMYでは、2014年11月よりシリーズとして「音楽分析講座」を行っております。この講座では各分野の専門家をお呼びし、楽譜や資料などから作品を分析的にアプローチすることにより、その作曲家のスタイルや音楽的思想を明らかにしていく試みです。まず、第一弾として音楽批評家、制作者の石塚潤一氏を迎え、松平頼暁 (第1,2回)、松平頼則 (第3,4回)、湯浅譲二 (第5,6回) の三氏についてそれぞれじっくりと語って頂きます。

湯浅譲二の素材論: ホワイトノイズ、声、楽音

作曲家湯浅譲二の本質はその電子音楽に集約しています。《ホワイトノイズのためのアイコン》、《ヴォイセス・カミング》といった作品の先進性／普遍性は、一人の作曲家の創作を代表するに十分なものですし、方眼紙上のグラフとして音楽を発想し、その結果を五線譜にリダクションする、という創作方法もまた、電子音楽制作の経験と深く結びついています。

ただ、この結びつきについては、電子音楽的素材と通常の楽音との間に、素材としての特性の違いがあることに注意しなくてはなりません。従来、湯浅譲二の作品に対する論評には、この素材の差異に関して、十分な検討がなされて来ませんでした。

今回の講座では、1950年代以降の日本の電子音楽の歴史を概観するとともに、そこで問題となった様々な音響についての科学的知見を整理し、素材と構成(コンポジション)の関係を再検討していきます。(文責: 石塚潤一)

□ 第5回(湯浅 第1回)

《ホワイトノイズのためのアイコン》まで「日本の電子音楽」の中での湯浅譲二

■ 第6回(湯浅 第2回)

《ホワイトノイズのためのアイコン》以後の作品をめぐって

【日時】 第5回 (湯浅 第1回) 2015年3月28日(土) 18:00～20:00 (定員20人)
第6回 (湯浅 第2回) 2015年4月25日(土) 14:00～16:00 (定員20人)

※ 第5回と第6回講座は、開催時間が異なりますので、ご注意ください。

【受講料】 2,000円 (学生1,500円)
2回通し券(3,500円、学生券は通し券なし)

【会場】 BUNCADEMY (東急東横線 学芸大学駅 東口から徒歩1分)

【住所】 〒152-0004 東京都目黒区鷹番 3-1-3 リエール鷹番303号

【お申込み／お問い合わせ】 (担当: 倉脇)

appo@buncademy.co.jp または info@buncademy.co.jp